

## 社会福祉法人桜友会 経営理念

1. 地域の皆様が人間らしく、安心して生活を送るための総合的な支援をします
2. 地域の一員として地域の思いを受け止め実現します
3. 支援を通じて利用者も職員も心豊かな人生を送ります

## 法人品質方針

1. 地域で一番信頼されるサービスの提供
2. 生涯働ける職場づくり
3. 進歩し続ける事業所づくり

## 平成27年度 事業状況

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 特別養護老人ホーム         | ほほえみ福寿の家                        |
| 2. 短期入所生活介護          | ほほえみ福寿の家                        |
| 3. 通所介護              | デイサービスセンターほほえみ                  |
| 4. 認知症対応型通所介護        | まなびやデイサービスセンターほほえみ              |
| 5. 訪問介護              | ほほえみ訪問介護事業所<br>(介護保険・障害福祉サービス)  |
| 6. 軽費老人ホーム           | ケアハウス桜                          |
| 7. 認知症対応型共同生活介護      | ほほえみごこち                         |
| 8. 認知症対応型共同生活介護      | ほほえみごこち田原                       |
| 9. 小規模多機能型居宅介護       | ほほえみごこち田原                       |
| 10. 居宅介護支援事業所        | ほほえみ介護相談センター、<br>ほほえみ介護相談センター本町 |
| 11. 関市中央第4地域包括支援センター |                                 |
| 12. 情緒障害児短期治療施設      | 児童心理療育施設 桜学館                    |
| 13. 事業所内保育施設         | ほほえみ保育園                         |
| 14. 配食サービス           |                                 |
| 15. 職員の状況            |                                 |

# 1. 特別養護老人ホーム ほほえみ福寿の家

## ●目標達成状況

部課名	取り組み内容	達成状況
そよかぜの街	外部研修へ参加させ翌月には復命研修を実施し、ヒヤリハットを月20件以上提出し、職員の配慮不足による報告を月10%以下に抑える	66.7%
	ご利用者の残存機能を最大限に活かした自立支援の実施 自立支援援助計画を作成し、年2回評価し達成率が90%以上	70.0%
	利用者の状況を随時振り返ることにより、統一意識を持ち、安全で健やかに生活して頂ける環境作り・ケアの実施(月満床率98%以上)	66.7%
新緑の街	介護の基本的な知識・技術を改めて学び原点に立ち返り職員統一を図りチームケアの実現する(①ヒヤリハット提出30件以上/月)、(②不適合の転倒・怪我(あざを含む)の発生率・・・20%以下/月)	①75.0% ②75.0%
	自立支援の介護を提供することで、その人らしく施設での生活を送って頂けるよう個別ケアの実践をする。 個別介護計画を具体的に作成・実践し年2回の達成状況が90%以上	61.0%
	入所者ができるだけ長く健やかに施設での生活を継続できる介護を実践する(月満床率98%以上)	0.0%
あおばの街	入所者にとって安全で安楽であり、職員にとっても安全な持ち上げない介護の実施(対象者20名に対し80%実施/月)	79.0%
	毎月のミーティングにて危険予知トレーニングを実施(ヒヤリハット月50件以上提出)	87.0%
	認知症実践者研修の取得(2名/年)	100.0%
	個別介護計画を作成し、自立支援に向けた個別ケアを実践し、年2回の達成状況の評価する(達成率90%以上/50名)	86.6%
	1ヶ月の満床率98%以上	83.7%
こもれびの街	個々に改善したいことを見つけ、改善策を提案・検討会を開催する。スキルチェックを2ヶ月に1回実施・評価し、10点満点で8点以上、70%を目指す	33.0%
	ユニットケアを実施している他施設の見学と報告・検討会を年4回実施し、年3件ユニットケアを導入し評価していく(3件/年)	33.0%
	1ヶ月の満床率98%以上	75.0%
	1ヶ月のヒヤリハット提出件数を40件以上とする。	16.0%
せせらぎの街	持ち上げない介護の知識や技術を積極的に学び、職員の力量アップ、質の高い介護の実践(新しい介護技術の勉強会 1回/2ヶ月)	100.0%
	利用者の残存機能を活かし、自立支援を目指した介護の定着 ①せせらぎ全体のオムツ使用率(10%以内/1ヶ月) ②普通食・きざみ食摂取率70%以上/1ヶ月	①58.3% ② 0.0%
	入所者が健やかに長く施設での生活が出来る介護を目指す。 ①満床率98%以上/月 ②ヒヤリハット報告書の提出60件以上/月	①41.7% ②100.0%

※(そよかぜの街と新緑の街)は10月から(あおばの街)になった。

●利用状況(平成28年3月末現在)

		そよかぜの街		新緑の街		あおばの街		こもれびの街		せせらぎの街		全体		
年 齢	最年少	68歳		70歳		68歳		73歳		76歳		68歳		
	最高齢	97歳		103歳		97歳		96歳		100歳		100歳		
	平均	全体	84歳		87歳		86歳		85歳		88歳		86歳	
		男性	78歳		82歳		79歳		87歳		86歳		83歳	
		女性	87歳		88歳		87歳		84歳		88歳		87歳	
要介護度 ()内は前年度	1	0名	平均介護度	0名	平均介護度	0名	平均介護度	1名	平均介護度	1名	平均介護度	2名	平均介護度	
	2	1名	3.66 (3.60)	2名	3.90 (3.88)	4名	3.90 (-)	0名	3.85 (3.95)	3名	3.87 (3.75)	7名	3.80 (3.86)	
	3	9名		7名		17名		7名		8名		32名		
	4	9名		7名		18名		5名		16名		39名		
	5	5名		10名		11名		7名		12名		30名		
合計	24名			26名		50名		20名		40名		110名		

●今後の活動に向けて

特養全体	①平成27年度にご家族からいただいた苦情を元に、特養として弱いソフト面の改善及び強化のため、社会人としてはもちろんだが、介護職員として求められる接遇・認知症の理解について基本的な姿勢を見直し、自分たちが何を求められ、何を実行しなくては行けないかという意識を改めて主任・サブリーダーを中心に全職員へ指導していく。
特養全体	②特養全体で持ち上げない介護について年間を通して学んでいく。 ③効率的かつ効果的に汚染物を殺菌、洗濯できる洗剤と汚物処理洗濯機を導入し、職員の作業負担の軽減と、入所者及び入居者の衣類を傷めるリスクを回避する。 ④出来るだけたくさんの質の良い人材を確保出来るように、実習生を指導する職員の指導と育成に力を入れていく。
あおばの街	①年間を通して職員全体の接遇スキルアップを図れるよう教育訓練を取り入れていく。 ②ご利用者が過ごしやすく職員も業務しやすい生活環境をソフト面・ハード面共に整えていく。
こもれびの街	①ユニットケアを実施していくため、ソフト面での見直し及び改善を進め、効率的な介護業務を行う事や、職員の身体的軽減を図る為に、持ち上げない介護の導入を図っていく。
せせらぎの街	①認知症への理解と実践のための教育指導に力を入れる。 ②継続して持ち上げない介護の定着と安定を図っていく。

2. 短期入所生活介護 ほほえみ福寿の家

●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
・介護技術の勉強会2ヶ月に1回偶数月に開催し、さらに介護職員に対してのスキルチェックを2ヶ月に1回奇数月に行う。スキルチェック(10点)の満点者の割合、80%以上。	100%
・認知症実践者研修の新規修了者、2名以上/年。	50%
・ショートステイで活動した全てのボランティアグループの活動延べ日数、10日以上/月。	25%
・1ヶ月の満床率98%以上。	0%

●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日平均人数(人)	20.2	21.1	24.2	23.0	24.5	24.4	23.1	23.3	23.0	24.5	23.6	22.5	23.1
満床率(%)	77.6	81.3	93.1	88.0	94.0	92.9	88.0	89.7	88.7	94.4	90.6	86.4	88.7
平均介護度	3.2	3.0	3.3	3.2	3.0	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0	3.1	3.2	3.1

●今後の活動に向けて

10月から食堂の場所が変わったが、20人以上の利用者が集まると利用者が安全に移動する事が困難となる。改めて環境に合ったテーブルの購入や既存の物品の配置を検討し、過ごしやすい環境作りを行いたい。また、出入口を食堂に設けたが、扉を開けると外気が直接入ったため、玄関整備も行いたい。
--

### 3. 通所介護 デイサービスセンターほほえみ

#### ●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
①-1. スキルアップの為の資格を取得する。 (介護福祉士、ケアマネージャー2名以上、認知症実践者研修受講2名以上)	介福50% ケアマネ50% 認知症100%
①-2. 研修ペアによる勉強会の企画と開催(1ヶ月1回)	100%
② 自立支援プログラムに沿ったリハビリを実施する。上半期に提案した利用者の訓練内容の達成状況を多職種と連携しプログラムの見直しをする。(ケアカンファレンス 1ヶ月5名以上)	83.3%
③ 毎月の居宅介護支援事業所への訪問と目的のあるレクリエーションやリハビリを実施することで利用日追加や新規利用者を獲得する。(1ヶ月の稼働率 95%以上)	83.3%

#### ●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均利用人数(人)	36.1	35.8	37.0	37.6	33.8	34.8	35.0	33.9	34.9	33.1	34.0	32.9	34.9
平均介護度	2.2	2.0	2.2	2.1	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	2.1
口腔機能向上加算延べ	16	16	16	20	16	18	18	18	16	17	16	17	17

#### ●今後の活動に向けて

① 利用実績については、複数回利用されている方が多く、入院やショートステイで実績は大幅に変動する為、実人数を増やす事を目標に、ケアマネージャーに「ほほえみの特色」をポイントごとに繰り返しアピールしていきたい。
② 集団レクリエーションだけではなく、利用者一人一人の趣味や特技に目を向け、「出来る事」「やりたい事」を見つけ、個人の楽しみにつながるような取り組みをしていきたい。また、同じ趣味の方同士の交流を目的にしたサークル活動も計画していきたい。
③ 在宅生活の中の問題点や課題に視点を置き、在宅環境に沿ったリハビリを実施していきたい。また、体力測定その他に、姿勢にも着目し、効果が伝わるような見える化を図っていきたい。
④ 回想法を取り入れた味噌汁作りや学習療法を行い、認知症でありながらも役割を持ち活気のある生活が送れる様に支援していきたい。
⑤ 認知症のレベル(自立・軽度・中重度)に合わせ、居室を3グループに分け、グループごとの管理人を中心に外出行事や施設外の散歩、共同制作を含む余暇活動を計画していきたい。

### 4. 認知症対応型通所介護 まなびやデイサービスセンターほほえみ

#### ●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
① 認知症実践者研修及び認知症に関する内部または外部研修を受講し、受講者による伝達研修を実施する。(2ヶ月1回実施)	100%
② 役割のあるおやつ作り(月曜日から土曜日までの営業日に実施)	75%
③ 毎月1回居宅介護支援事業所を訪問し営業活動をする。また利用状況について定期的に情報提供をする。(1ヶ月の稼働率上半期50%以上 下半期75%以上)	25%

#### ●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均利用人数(人)	81	91	119	160	186	197	207	197	240	192	190	196	171.3
平均介護度	2.2	2.41	2.37	2.76	2.99	2.96	2.83	2.77	2.65	2.46	2.64	2.72	2.65

●今後の活動に向けて

- ①脳トレについては、学習療法として一人15分～20分間行い、教材についても計算や読み、書きに限らず個々の利用者に合ったものを提供していきたい。
- ②役割作りの一つとして行ってきたおやつ作りについては、楽しみにされているご利用者もいる為今後も継続していきたい。また、月に一回の昼食作りなど、料理が好きな人が活躍できるような場を作していきたい。料理の計画は、「何を作るのか」「どんな材料があるのか」などご利用者と一緒に話し合い計画していきたい。また、野菜作りの希望も多く、ほほえみ農園やプランターでの野菜作りを通して土とふれあう機会をもち、収穫した野菜で調理をしていきたい。
- ③ご家族との情報交換で得た情報を基に、ひもときシートを活用し課題を整理、アセスメントし、ケアの方向性を検討するカンファレンスを行っていきたい。
- ④認知症とADLの評価表を作成し、どのように改善したかなど、変化が数字で分かる様にしていきたい。

## 5. 訪問介護 ほほえみ訪問介護事業所(介護保険・障害福祉サービス)

●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
①介護負担軽減の為の勉強会の実施(1回/2か月)	100%
②職員交流会の実施(1回/2か月)	100%
③安定した稼働状況の中で、ご利用者を積極的に受け入れ、選ばれる事業所を目指す(月/稼働換算表内での時間数 100%)	92%

●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
サービス提供時間(h)	713	721	728	720	687	667	700	642	692	667	689	653	690
延利用回数(回)	680	697	704	709	671	645	676	613	666	642	652	641	666
平均介護度	2.12	2.14	2.15	2.16	2.10	2.04	2.05	1.98	2.07	1.98	1.97	1.95	2.06

●今後の活動に向けて

可能稼働時間数を割り出して実施する様になり、事業所として対応できる訪問件数が時間数として把握できるようになり、1日辺りの訪問件数も調整できるようになってきたが、まだデータの分析が出来る程の把握が出来ていない。次年度も継続して取り組み安定した稼働管理ができるようにしていきたい。

高齢化社会と言われるだけあって、老々介護や認々介護が増えている。時代的な背景なのか、家族の介護する意欲は低下しており、介護指導をする事が増えてきている。ご利用者の在宅生活を継続させるために資質向上を図っていきたい。

## 6. 軽費老人ホーム ケアハウス桜

### ●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
①入居者様のADLを維持するため「気付き」に基づいたケアカンファレンスを開催する(6回/年)	100%
②他部署を招き、四季を感じ味わう行事を開催(8回/年)	100%
③ケアハウスの行事にボランティア様を招き、入居者様との交流(8回/年)	100%

### ●利用状況(平成28年3月末現在)

	男性	女性	合計
入居者数(人)	12	14	26

### ●今後の活動に向けて

- ①入居者様の望みを聞き取りその人らしい生活をお過ごしいただけるよう支援する。
- ②四季を感じ味わう行事の中で流し素麺、山菜天ぷら、キノコ鍋が好評であったため、今年度も継続する。

## 7. 認知症対応型共同生活介護 ほほえみごこち

### ●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
①-1 他部署の勉強会に参加した職員による伝達研修からの改善活動(4件以上/年)	100%
①-2 認知症管理者及び認知症実践者リーダーの資格取得(1件/年)	100%
②-1 法人内他事業所と共同行事を開催する。(年3回以上)	100%
②-2 行事を開催する際に地域関連団体をお招きする。(2回以上/年)	100%
③ 小ミーティングにて入居者様の状態変化に関する情報を共有する。(毎日)	99%

### ●利用状況(平成28年3月末現在) 平均要介護度 1.88

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末割合
要介護1	4	4	4	4	3	3	2	3	3	3	3	3	33.3%
要介護2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	44.4%
要介護3	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	22.2%
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0.0%
要介護5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
実人員計(人)	9	9	9	9	9	9	8	9	9	9	9	9	

### ●今後の活動に向けて

平成27年度はADLの低下により、3名の入居者が法人内他事業所へ移動するとともに平均介護度は1.88と下がった。年齢が90歳を超える方が7名居られることからADL低下から考えられるリスクを予測し見守りに努めた結果、入院に繋がる事故は発生しなかった。認知症症状についても少しずつ進んでおり、その都度変化に合わせて対応を切り替える場面が多くなった。引き続き状態変化を迅速に察知し情報を日々共有し他職種と連携をはかり対策を講じる。また平成28年度は、入居者様それぞれの生活状態を見直し、個別の認知症対策としてグループホーム内での役割やその人らしい余暇活動を増やすよう取り組む。

## 8. 認知症対応型共同生活介護 ほほえみごこち田原

### ●目標達成状況

取り組み内容	達成率
1-① 認知症に関する勉強会を年6回実施する。	100%
1-② 認知症実践者研修修了者 各2名	50%
2、3ヶ月に1回利用者満足度調査を行いニーズの確認をしケアプランに反映する。(月8)	100%
3-① 不適切ケアが原因となる入院をさせない。	100%
3-② ヒヤリハット月10件以上	40%
3-③ 年間居室稼働率99%以上	100%

### ●利用状況(平成28年3月末現在) 平均要介護度 2.67

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末割合
要介護1	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	11.1%
要介護2	3	3	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	44.4%
要介護3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	22.2%
要介護4	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	11.1%
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11.1%
実人員計(人)	9	9	9	9	10	10	9	9	9	9	9	9	

### ●今後の活動に向けて

①家族との情報共有を強化
②認知症ケアのスキルアップの向上
③職員のストレスの緩和と働きやすい環境づくり

## 9. 小規模多機能型居宅介護 ほほえみごこち田原

### ●目標達成状況

取り組み内容	達成率
1-① 認知症に関する勉強会を年6回実施する。	100%
1-② 認知症実践者研修修了者 各2名	50%
2、3ヶ月に1回利用者満足度調査を行いニーズの確認をしケアプランに反映する。(月8～9名)	100%
3 通所・宿泊サービスの月間平均利用率90%以上	100%

### ●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録人数	25	27	28	27	25	26	27	27	28	28	27	24	27
通い利用延べ(人)	464	524	545	515	497	466	476	462	535	496	474	504	497
泊り利用延べ(人)	209	239	264	244	225	191	190	192	258	242	235	258	229
訪問利用延べ(人)	92	113	103	118	107	172	168	261	243	191	164	173	159

### ●今後の活動に向けて

①職員のストレスの緩和と働きやすい環境を作り人員不足の解消と離職防止に努める
②認知症ケアのスキルアップの向上
③小規模29名登録に向け、地域と他事業所との連携を強化する。

## 10. 居宅介護支援事業所 ほほえみ介護相談センター、ほほえみ介護相談センター本町

### ●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
1 主任ケアマネによる定期的なスーパービジョン面談各自年3回以上。利用者の自立支援につながるケアプランを作成し、短期目標の期間内における目標達成率を70%以上にする。(6月より85%、9月現在95%に上方修正)	100%
2 内部におけるスーパービジョン研修年2回(4月、10月)、気付きをもたらすスーパービジョンの手法を用いた事例検討会を月1回以上行う。	100%
3-①新規受け入れ件数月10件以上	58%
3-②各ケアマネの平均稼働率月90%以上	8%

### ●利用状況(平成28年3月末現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稲口	介護(件)	118	119	120	123	124	122	124	137	131	132	139	144	128
	予防(件)	22	22	22	22	21	22	20	18	24	27	28	28	23
本町	介護(件)	95	90	91	94	89	91	93	91	91	88	86	84	90
	予防(件)	14	14	16	18	19	18	20	19	20	17	20	22	18

### ●今後の活動に向けて

①今年度も新しい職員を迎え 現在10名の職員が稼働している。今後も新規職員の受け容れを継続していくにあたり 新規職員の定着と介護支援専門員としての業務遂行のための教育体制を整えることを課題とし 新たに指導的立場の職員の育成も併行していく。

②昨年度に比べ、全体の利用件数は年間要介護191件増、要支援121件増となっているが、人数が増えたことで年間での平均利用者数が1.4人減となっている。新人職員を中心に新規利用者を獲得し、28年度上半期までには平均利用者件数を31件(昨年平均)以上となるよう継続的に地域包括支援センターや近隣病院へ空き状況を伝えるとともに過去に利用保留となった方への連絡をするなど利用者数の増加に努める。

③地域包括支援センターや近隣の病院の相談員より紹介のあった事例に対し 支援状況や困難事例の改善等、報告を継続していくことで信頼を得、引き続き新規の斡旋をしていただけるようにする。

④事業所の各ケアマネージャーのケアマネジメント能力の向上を目的として、主任ケアマネによる定期的なスーパービジョンと事例を通じたグループスーパービジョンを行っている。適宜、新入職員対象のスーパービジョンの勉強会を全員に行い、事例検討を積み重ねていくことで 事例を振り返り、整理し、自ら気づく力を養い困難事例に対応できる能力を養成し 全職員がレベルアップを図れるようにする。現在3名の主任ケアマネが在籍しているが、今年度2名が主任ケアマネ資格取得のため研修に参加予定であり、更なるレベルアップを図る。

⑤主任ケアマネは所属事業所の枠を超え、関市の地域包括ケアを実現していくための研修に参加し既に活動を始めている。今後も活動を継続し主任ケアマネ同士の顔の見られる関係を作りながら事業所のケアマネへの啓蒙を図る。



## 11. 関市中央第4地域包括支援センター

### ●目標達成状況

取り組み内容	達成状況
①高度なスキルを身につけ、困難事例への対応力を高める。	50%
②長期にわたる相談事例の早期解決を図り、信頼度を高める。地域ケア会議および個別ケア会議を開催しながら関係機関や民生委員・地域の協力者等と連携し、問題解決にあたっていく。	100%
③介護予防や介護知識の普及を図る教室を開催し、利用者増をはかるとともに、今後総合事業への移行に結びつくような地域の資源(サロンやたまり場)を調べたり、地域診断をすることで地域に必要な支援の方向性を検討していく。	100%

### ●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
相談(件)	70	70	64	62	53	49	61	48	49	50	59	56	691	58
訪問(件)	138	149	113	123	108	103	117	94	107	100	107	110	1,369	114

### ●今後の活動に向けて

- ①支援困難事例も含め、個別ケア会議をできるだけ多く開催する。
- ②介護予防事業に積極的に関わり、民生委員の定例会、地域の懇談会等にも積極的に参加する中で地域のニーズをしっかりと捉え、地域の力で開催・継続できるような支援をしていく。
- ③介護者教室を開催する。

## 12. 情緒障害児短期治療施設 児童心理療育施設 桜学館

### ●目標達成状況

取り組み内容	達成
①SS研修生=12名→14名 実績:14名実施	100%
②SST初級=4名→6名 中級3名→4名 実績:初級6名 中級3名	90%
③CSPTトレーナー=4名→6名 ToT1名→1名 実績:研修機関変更により未実施	0%
④1/6か月で職員個人面談実施	50%
⑤子どもの権利擁護・人権侵害防止の取り組み 実績:職員倫理綱領を作成し提示した	100%
⑥苦情解決委員等外部機関による検証 1/月 実績:3回	50%
⑦自立支援計画の検証と更新	100%
⑧ケースカンファレンスの実施 1回以上/月	100%
⑨管理職2回以上/月 自治体福祉課・教委訪問	100%
⑩主任1回以上/月 NW会議・自治体とケース会実施	100%

### ●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入所(人)	28	29	28	31	31	30	29	31	32	31	30	31	30.1
通所(人)	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2.5

### ●今後の活動に向けて

5月に国会で「情緒障害児短期治療施設」から「児童心理療育施設」という名称に変更することが決まりました。桜学館は「児童心理療育施設」としてありますが、これは「療育」が「治療」だけではなく「子どもを育てる」という視点を持つことが施設職員に求められる姿であるという想いを込めて付けた名前です。28年度は、「子ども家庭支援センター」の開設をする運びとなりました。地域や中濃圏域の子育て相談を「児童心理療育施設」の特性を生かし、よりニーズに応えられるよう工夫をしていきます。

### 13. 事業所内保育施設 ほほえみ保育園

●目標達成状況

取り組み内容	達成率
①園児が期待するお楽しみ会の開催(20回/年)	100%達成(33回)
②園児とお年寄りとの交流(10回/月)	100%達成(164回)

●利用状況(平成28年3月末現在)

登録園児	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
桜友会(人)	7	7	9	8	3	2	36
明萌会(人)	2	0	3	1	2	0	8
地域(人)	2	2	0	0	1	2	7
計	11	9	12	9	6	4	51

(注記)年齢は平成27年4月1日時点の年齢とする

利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実人数(人)	26	24	21	26	28	28	28	28	29	30	23	32	27
延べ人数(人)	256	246	255	283	293	299	323	312	289	285	229	300	281
1日平均(人)	8.5	7.9	8.5	9.1	9.5	10.0	10.4	10.4	9.6	9.8	7.9	9.7	9.3

●今後の活動に向けて

保護者が安心でき、園児が満足感を得られる保育園となるため、保育時間については臨機応変に対応し、行事等では園児の年齢に合った内容を考え、園児の満足感に気を配る。今後も当園の特色である高齢者施設との交流で園児の温かい心を育むとともに保護者のニーズを引き出すコミュニケーションの実践及び外部研修の活用により、満足度の高い保育園の実現を目指していく。

### 14. 配食サービス

●利用状況(平成28年3月末現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
食数(食)	636	648	686	832	831	877	887	829	767	674	750	817	9,234	770

### 15. 職員の状況 (H28.3.31現在)

- 職員数 直接雇用 243名、派遣等 18名 合計 261名 (前年 244名)
- 離職率 10.7% (前年 11.1%)
- 有給休暇取得率 30.5% (前年 29.6%)



















